



江別市立病院 経営強化プランを改定しました

江別市と近隣市町村を含む地域において、持続可能な地域医療提供体制を確保しつつ、市立病院の経営強化を着実に推進するため、令和6年3月に「江別市立病院経営強化プラン」を策定しました。

計画の1年目である令和6年度の実績が計画値から大きく乖離したことや、診療報酬改定、全国的な人件費および物価の高騰など、取り巻く環境が変化したことを受け、令和8年度に予定していた中間見直しを令和7年度に前倒して実施しました。

☎ 382-5151
【詳細】市立病院事務局経営企画課

プランの対象期間

対象期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間ですが、令和6年度の実績と令和7年度の実績見込みを踏まえた令和8年度予算をベースとして、令和10年度での収支均衡を目指します。

プランの概要

公立病院に求められている持

本計画は市立病院や市内公共施設などで配布しているほか、下の二次元コードから見るができます。



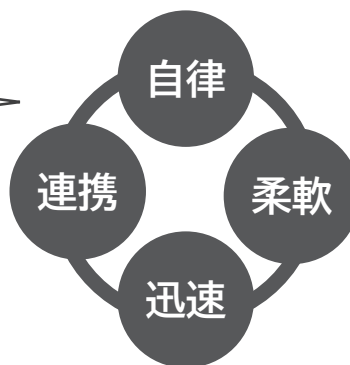
持続可能な地域医療提供体制を確保するために、「役割・機能の最適化と連携の強化」「医師・看護師などの確保と働き方改革」「経営形態の見直し」「新興感染症の感染拡大時などに備えた平時からの取り組み」「施設・設備などの最適化」「経営の効率化」などの取り組みを記載しています。

▼実現すべき医療「ビジョン」

地域の医療をつなぎ、地域に密着した医療を提供し、地域の発展に貢献する

地域に求められる、総合的かつ専門的な急性期医療を提供する

経営理念
ビジョンに到達するための



- 【自律】効果的かつ効率的に病院を運営し、一般会計に依存しない自律した病院経営を目指す
- 【連携】地域の医療機関とネットワークを創り上げ、市民が最適な医療を享受できる体制を構築する
- 【柔軟】環境の変化に柔軟に対応し、持続的に医療を提供できる病院経営を目指す
- 【迅速】状況変化や環境変化（国の制度変更・人口動態の変化など）に迅速かつ的確に対応する体制を構築する

専門的な治療を行う外来の取り組み

専門的な治療を行う外来を設置しています。その一部を紹介します。

●肩専門外来（整形外科）

肩の痛みや違和感など、肩に対するあらゆる悩みに対応する外来です。

●もの忘れ外来

認知症の鑑別診断や薬剤の選択・調整などを行う外来です。札幌医科大学附属病院と連携した治療も行っています。

●赤ちゃんの頭のかたち外来（小児科）

乳幼児の頭のかたち（ゆがみ）が気になる子どもを対象に、向き癖などによって生じる頭蓋の変形について医学的評価を行い、必要に応じてヘルメット治療などを行います。

●まぶた外来（形成外科）

生まれつきの病気や老化、腫瘍（できもの）、外傷（けが）など、さまざまな理由で起こるまぶたの障がいに対応する外来です。

※令和8年4月から新しく「形成外科」を開設しました

各外来の詳細



肩専門外来



赤ちゃんの頭のかたち外来



もの忘れ外来



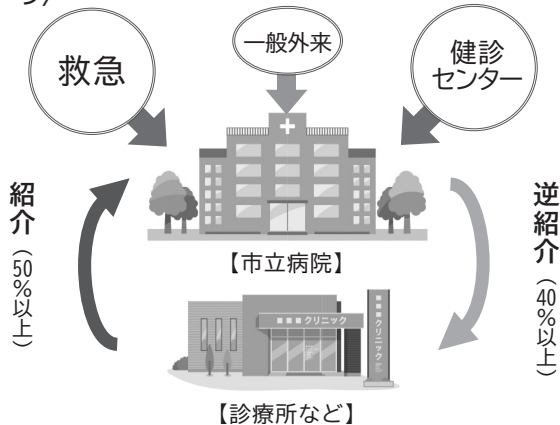
まぶた外来

▼ 経営強化プランの一部を紹介します

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- ①地域医療構想を踏まえた市立病院の果たすべき役割・機能
 - ・地域の基幹的医療機関として入院機能を強化
 - ・手術や入院の前後、高度医療機器などを必要とする外来への重点化
 - ・市民ニーズに応える専門的な治療を行う外来の充実 (P4 参照)
 - ・消化器系を中心としたがん診療機能強化と緩和ケアの充実
 - ・市内の医療機関、関係機関と連携し、救急医療体制を確保
 - ・病院の総合力を活かした高齢者医療の充実
 - ・安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- ②地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
 - ・認知症の人とその家族を支える医療の充実
 - ・健康寿命の延伸に向けた健診事業の充実
- ③機能分化・連携強化
 - ・市内の医療機関との連携を強化し、紹介・逆紹介を推進
 - ・地域医療連携推進法人「メディカルアライアンス江別」の参加医療機関として、湊和会江別病院との連携をより一層強化し、市内の医療体制を充実
 - ・江別・南空知先端医療推進協議会による広域ネットワークの構築

「紹介受診重点医療機関」の導入を踏まえた取り組みの方向性(イメージ)



紹介受診重点医療機関

かかりつけ医などからの紹介状を持つての受診に重点を置いた病院のこと。手術や入院前後の外来、化学療法などを必要とする外来、高度医療機器などを必要とする外来などを行います。

④医療機能や医療の質、連携の強化などに係る数値目標

	R4年度【基準】	R7年度見込み	R10年度【目標】
救急搬送患者数	1,139人	1,631人	2,000人
手術件数	1,827件	2,046件	2,500件
紹介率 ※()内は発熱外来を除く	10.5% (19.4%)	26.4%	50.0%
逆紹介率 ※()内は発熱外来を除く	13.3% (24.3%)	33.6%	40.0%
健診受診者数	3,667人	4,817人	6,900人

⑤一般会計負担の考え方

- ・自律的な経営と政策医療などに対する公費負担によって支均衡を実現

⑥住民理解のための取り組み

- ・年齢層、地域特性などを踏まえ、戦略的に広報活動を展開

(2) 医師・看護師などの確保と働き方改革

- ①医師・看護師などの確保
 - ・担うべき医療の重点化を図り、医療従事者の確保を計画的に推進
 - ・大学医局との関係構築・強化に努め、内科診療体制を構築
- ②臨床研修医の受け入れなどを通じた若手医師の確保
 - ・働きがいのある魅力的な病院を目指し、教育体制と研究環境を充実
- ③医師の働き方改革への対応(元気が出る組織づくり)
 - ・「元気が出る組織づくり」に取り組み、病院全体で働き方改革を推進

(3) 経営形態の見直し

- ・地方公営企業法全部適用の効果を継続的に検証

(4) 新興感染症の感染拡大時などに備えた平時からの取り組み

- ・関係機関との協力体制を強化

(5) 施設・設備などの最適化

- ・必要な医療を安定的に提供するため、外部改修工事を実施
- ・電子カルテシステムなどを最大限に活用し、医療DXを推進

(6) 経営の効率化など

①経営指標に係る数値目標

	R4年度【基準】	R7年度見込み	R10年度【目標】
給与費対医療収益比率	56.3%	70.9%	61.4%
1日当たり入院患者数	175人	201人	225人
入院診療単価	48,852円	51,911円	62,227円
常勤医師数	36人	38人	45人
企業債残高	51億円	63億円	86億円
一時借入金残高	9億円	なし	5億円

②目標達成に向けた具体的な取り組み

- ・病院事業固有の専門性と経営感覚を併せ持った事務職員の育成と確保
- ・経営と医療の質の向上に向けた計画的な人材育成の推進
- ・DPC運用の最適化や医療機関関係数の向上に向けた取り組みを推進

③経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画

	R6実績	R7	R8	R9	R10
純損益	△8.3億円	△5.0億円	△4.0億円	△2.0億円	1.5億円

点検・評価・公表

「江別市立病院経営評価委員会」による点検・評価を実施し、公表します。

